

等を行っており、令和4年秋以降の導入を目指している。

GCFは、共感が得られるプロジェクトを見極めて募集するなど、関係部局で取組を進める必要がある。魅力ある・暮らしやすいまちづくりのため、新たな稼ぐ手法の活用に取り組みたい。

※GCF(ガバメントクラウドファンディング)：自治体がプロジェクト実行者として、プロジェクトに共感した方から、ふるさと納税制度を利用して資金を募るもの。
ネーミングライツ：公共施設の名前を付与する命名権と、付帯する諸権利のこと。

市民クラブ

民間事業者との災害連携協定

問 協定の締結状況と、新たに締結した電気自動車を利用して電源を確保する協定の内容について伺いたい。

答 本市では、災害発生による市民生活への影響を軽減するため、発災から復旧・復興に至る過程において、迅速に対応できるよう他都市や民間事業などと災害連携協定の締結を進めており、令和3年4月1日現在の締結件数は40件で、うち30件が民間事業者である。

今回締結した協定は、災害時に停電が長期化した場合に、事業者が保有す

る電気自動車を本市が指定する場所に運搬し電源の確保を行うものである。

今後、締結した協定を有効に機能させるためにも、定期的な連絡体制の確認や、日頃の訓練を通して災害による被害の軽減に努めていきたい。

防災備蓄品

問 本市の防災備蓄品は他の中核市に比べて量が少ないが、災害に対する備えは十分なのか伺いたい。

答 備蓄品には、市が備蓄する現物備蓄と事業者等との災害協定を通じた流通備蓄があり、現物備蓄は、長崎大水害の避難者数3000人と災害対応職員数600人の合計3600人の2日分を基本としており、使用期限が短いものや大量に必要とするもの等は、大手スーパー等との災害協力協定や国の支援による流通備蓄で対応することとしている。

近年、災害が頻発化、激甚化していることから、想定される災害の発生頻度や規模、支援体制の状況等を勘案し、災害時に必要な物資が円滑に供給できるよう備蓄品の整備及び協定締結事業者等との連携強化に努めていきたい。



日見地区市営住宅の変遷

問 今後どのように変わるのか、また、

跡地が生じた場合の活用について伺いたい。

答 長崎市公営住宅等長寿命化計画に基づき、築40年以上の日見大曲住宅、日見大曲アパート(4号棟除く)、宿町アパートは、戸数の約5割減を目指し建て替えによる集約を進める。築30年から39年の宿町第2アパートは浴槽などの給湯化や浴室改修を行い、戸数の約3割減を目指し改修による集約を進める。築30年までの日見大曲アパート4号棟は適切な維持修繕を行う。建て替えや改修に際しては、入居者や地域住民の方々へ説明を行いながら進める。また、集約により空地が発生する場合は、市でまず活用を検討した上で、住民の方々に説明しながら、土地の活用について検討をしていきたい。

公明党

生理の貧困

問 本市の見解と取組について伺いたい。また、学校で生理用品を児童生徒に無償で提供する考えはないか。

答 「生理の貧困」については全国的に注目されており、本市においてもコロナ禍の厳しい状況から孤独や孤立により不安を抱える女性への支援は必要と考え、国の「地域女性活躍推進交付金」つながりサポート型の活用について手続きを進めており、支援策の1つ

として生理用品等の提供を考えている。また、現在、学校では児童生徒に緊急用として生理用品を貸与しているが、今後は提供するとともに、必要に応じて相談を受けながら、実態把握に努め、内容によっては、関係機関につなぐなどして、安心して学校生活を送れるよう取り組んでいきたい。

地域女性活躍推進交付金つながりサポート型：国の緊急支援策で、新型コロナウイルス感染症の影響で困難や不安を抱える女性に対して、NPO等の民間団体の知見や能力を活用し、きめ細かい支援を実施するもの。

原爆展開催の在り方

問 本市におけるオリンピック開催地での原爆展開催の有無、開催場所や期間、周知方法などについて伺いたい。

答 東京オリンピック・パラリンピックが開催される機会を捉え、令和2年度開催予定だった「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」は、大会自体の延期に合わせ、令和3年7月18日から9月5日まで、東京都文京区、千代田区、埼玉県飯能市の3都市で開催を予定しており、写真パネルや実物資料の他、柱時計のレプリカ等を展示し、被爆の実相や復興の歴史等について紹介



▲柱時計レプリカ